

## 世界をリードする力

国際社会における次世代のリーダーは、語学力はもちろん、コミュニケーション能力、国際感覚、論理的思考力、討論力、自律性などが求められます。慶應義塾大学理工学部には、単に語学を学ぶだけでなく、発表や討論、実地研修などを通して、多様な価値観や文化を理解するプログラムが多く用意されています。

生きた英語を使って少人数で  
ディスカッションすることが大きな魅力。  
自発的に発言する姿勢も身についた。



勉学に打ち込むことに加え、  
リーダーを経験する  
機会に積極的に挑戦していきたい

少人数制や英語でディスカッションができることに魅力を感じ、グローバルリーダーシップセミナー(GLS)を受講しました。説明会で授業のコンセプトを聞いたのですが、英語力そのものを問われるのではなく、英語をコミュニケーションのツールとして活かすことに重きを置くという話にも惹かれました。加えて、グローバルという言葉を自分の中で漠然としか定義できていなかったのが、それが何なのか、この授業を通じて自ら見つけたいという思いもありました。

GLSは週に2回開講され、1回目に行われた講義テーマについて2回目の授業において少人数のディスカッションを行います。2回目の授業前日までに講義内容のサマリーを英語で書いて提出する必要もあり、思っていたよりもタフでしたが、逆にそれが楽しかったです。自発的に発言する姿勢が身についたと思いますし、自分たちでテーマを見つけ議論することもできるようになりました。

いまは学科の選択や大学院への進学など、進路については少し迷っていますが、勉強や研究には精一杯取り組んでいきたいと思っています。さらに、語学力を磨いたり、国際感覚を養ったりすると同時に、どこかでリーダーという立場に立つ機会を自分から掴みにいきたいとも考えています。人との出会いが広がるとは思いますし、視野を広げるという意味でも自分に必要なことと感じています。また、東京オリンピック・パラリンピックで英国代表選手団をサポートしようという“KEIO 2020 project”に参加しており、その活動にも力を入れていきたいですね。

学門1 1年  
東京都 / 私立国際基督教大学高等学校 出身

## 外国語教育 (英語・諸外国語)

学部1・2・3・4年

英語科目ではアカデミックな英語運用能力の習得を通じて、論理的・批判的思考力を養います。習熟度別にクラス分けされた第1・第2学年の必修英語に加えて、選択英語(総合教育科目)で「リーディング」「ライティング」「スピーキング」「リスニング」といった技能別授業を学部4年間にわたり履修できます。諸外国語は、第1学年でドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語のうち一つを選択して必修科目として学びます。これらの外国語も、目的別・レベル別のクラス(総合教育科目)で、学部4年間にわたって学ぶことができます。



## グローバルリーダーシップ セミナー(GLS)

学部1・2年

次世代のリーダーとして活躍するために、国際感覚、論理的思考力、討論力、言語力、自律性の大切さを肌で感じ、体得するプログラムです。英語そのものを学ぶのではなく、英語を使ってさまざまなテーマについて発表したり議論したりします。参加学生の多様な価値観や異国の文化を理解することで、世界でリーダーシップをとれるような国際感覚を養います。長期休暇中には、関連科目として「グローバルリーダーシップセミナー実地研修」を実施しています。



## 留学プログラム

学部1・2・3・4年 大学院

気軽に参加できる短期の語学研修から派遣交換留学まで、世界約130校の協定校に留学できる、多彩なプログラムが用意されています。理工系学生に特化したプログラムも多く、外国語を使って理工学を学ぶことができます。また、4学期制の中の春学期後半を利用して、海外サマースクールなどに参加できる学科もあり、単位を取得できた場合は慶應義塾の単位として認定される可能性があります。現地の文化に触れ、世界中から集まった学生と意見を交わすことで、国際感覚が磨かれます。



## ダブルディグリー プログラム

学部3・4年 大学院

慶應義塾と協定校の合意のもとで準備された一連のカリキュラムを修了すると、両校から同時に修士の学位が取得できる制度です。「学部生向け大学院一貫プログラム」と「修士課程学生向け3年プログラム」があり、フランスのエコール・サントラルやその他ヨーロッパ諸国の有力大学院で提供される正規カリキュラムを学びます。専門分野の学習と異文化圏への理解が深まる、高度なプログラムです。

